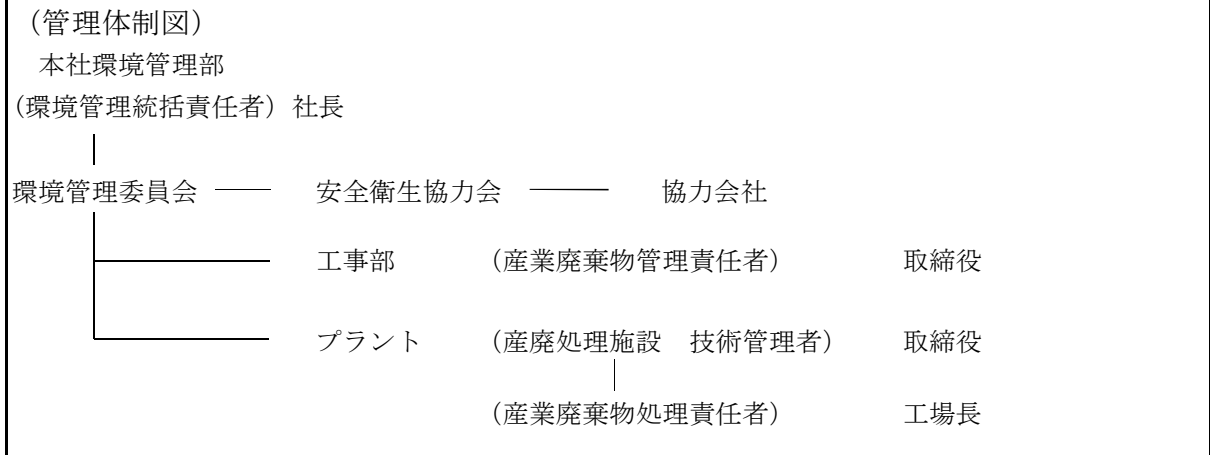


産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月3日	
名古屋市長 様	
提出者	
住 所 名古屋市守山区金屋一丁目10番31号	
氏 名 フルタ工業株式会社	
代表取締役 古田 貴幸	
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 052-794-1301	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	フルタ工業株式会社
事業場の所在地	名古屋市守山区金屋一丁目10番31号
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06：総合建設業
② 事業の規模	元請完成工事高：133,255万円
③ 従業員数	27人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	（一般土木工事、舗装工事、配水・下水管布設工事） コンクリート塊→自社プラントにて再生砕石として再資源化 アスファルト塊→再生処理業者に委託し再生アスコン・路盤材として再資源化 廃プラスチック→中間処理業者に委託し選別の上、破碎、圧縮、熱処理工程の後再生原料化の上、再利用 建設汚泥→中間処理業者に委託し安定処理、脱水、再利用 ガラス・陶磁器くず→中間処理業者に委託し破碎・溶融、再資源化 木くず→中間処理業者に委託しチップ化、再利用

(第2面)

廃棄物処理に係る管理体制に関する事項



廃棄物の排出の抑制に関する事項

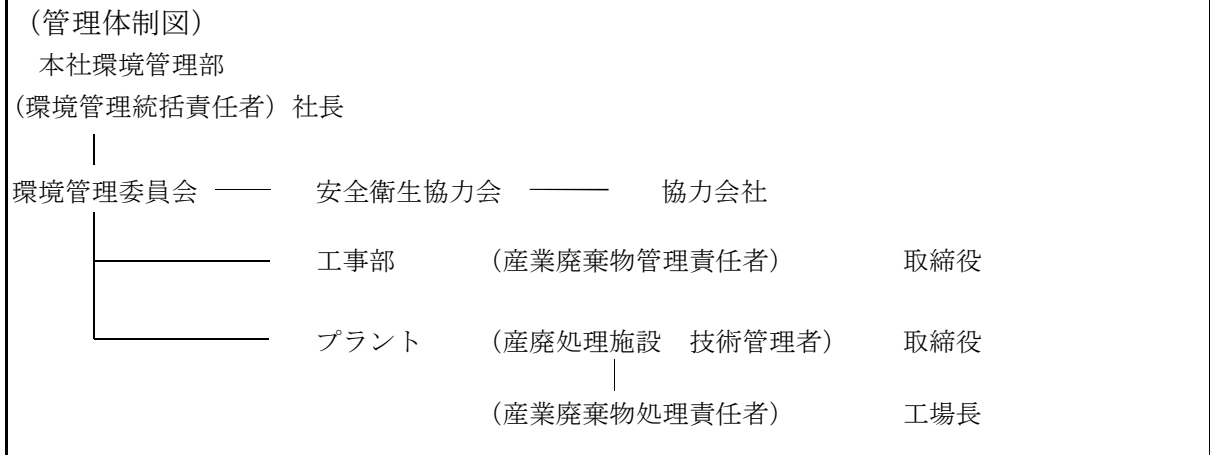
①現状	【前年度（令和5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類（Co塊）	がれき類（As塊）	汚泥	廃プラスチック
	排 出 量	2432.01t	4414.43t	10.09t	1.625t
	(これまでに実施した取組)				
	工事計画時のチェックリストに排出抑制の項目を盛り込み、減量具体策を検討・実施 協力業者末端まで認識を浸透させて抑制の徹底を図る 現場への納入資材の梱包材は納入業者に回収依頼し、リサイクル率向上と産廃排出量の削減を図る				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類（Co塊）	がれき類（As塊）	汚泥	廃プラスチック
	排 出 量	3000t	3000t	5t	1t
	(今後実施する予定の取組)				
	現場での排出量の抑制対策を検討して発生材の抑制を図る 現場間での資材流用計画にて有効利用を図り残材を減少、全体排出量の削減化を目指す 現場発生不要材の仕分けを徹底して混合廃棄物の処分量を削減				

廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、廃プラスチック類、紙くず、木くず、汚泥等分別の上、各処理業者に委託処理を依頼している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、廃プラスチック類、紙くず、木くず、汚泥等分別の上、各処理業者に委託処理を依頼 現場ごとに分別回収箱設置、全作業員に分別実施徹底化を図る 計画段階で想定される産廃種別を確認、削減対策に事前対処しておく

(第2面)

廃棄物処理に係る管理体制に関する事項



廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	
	排 出 量	0.11t	0.03t	2.42t	
	(これまでに実施した取組)				
	工事計画時のチェックリストに排出抑制の項目を盛り込み、減量具体策を検討・実施 協力業者末端まで認識を浸透させて抑制の徹底を図る 現場への納入資材の梱包材は納入業者に回収依頼し、リサイクル率向上と産廃排出量の削減を図る				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	
	排 出 量	1t	1t	1t	
	(今後実施する予定の取組)				
	現場での排出量の抑制対策を検討して発生材の抑制を図る 現場間での資材流用計画にて有効利用を図り残材を減少、全体排出量の削減化を目指す 現場発生不要材の仕分けを徹底して混合廃棄物の処分量を削減				

廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、廃プラスチック類、紙くず、木くず、汚泥等分別の上、各処理業者に委託処理を依頼している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、廃プラスチック類、紙くず、木くず、汚泥等分別の上、各処理業者に委託処理を依頼 現場ごとに分別回収箱設置、全作業員に分別実施徹底化を図る 計画段階で想定される産廃種別を確認、削減対策に事前対処しておく

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類（Co塊）	がれき類（As塊）	汚泥	廃プラスチック
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	22.71t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 現場にて発生したCo塊は自社の破砕施設にて中間処理の上、再生砕石として自社施工現場にて再利用				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類（Co塊）	がれき類（As塊）	汚泥	廃プラスチック
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2000t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) マニフェスト、委託契約書の整合性確認と記録化 廃棄物チェックシートの作成、実践で処理状況を記録、明示化 自社プラントでのCo塊処理量の増加を図る				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類（Co塊）	がれき類（As塊）	汚泥	廃プラスチック
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類（Co塊）	がれき類（As塊）	汚泥	廃プラスチック
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 無				

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組) 分別回収、仕分けの徹底化（混合化しない）				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組) マニフェスト、委託契約書の整合性確認と記録化 廃棄物チェックシートの作成、実践で処理状況を記録、明示化				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組) 無				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 無				

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類（Co塊）	がれき類（As塊）	汚泥	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 無				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類（Co塊）	がれき類（As塊）	汚泥	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 無				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類（Co塊）	がれき類（As塊）	汚泥	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量	2409.3t	4414.43t	10.09t	1.625t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	1.625t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	2409.3t	4414.43t	10.09t	1.625t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）				
	委託処理については信頼と実績のある業者を選定				
	委託契約書記載事項と現場発生での実績との照合確認				
	マニフェストの記載管理と保管、記録化の徹底				
	委託処理施設への追跡を現場ごとに実施、処分状況確認				

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組) 無				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 無				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	
	全 処 理 委 託 量	0.11t	0.03t	2.42t	
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	0.11t	0.03t	0 t	
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0.11t	0.03t	2.42t	
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組)				
	委託処理については信頼と実績のある業者を選定				
	委託契約書記載事項と現場発生での実績との照合確認				
	マニフェストの記載管理と保管、記録化の徹底				
	委託処理施設への追跡を現場ごとに実施、処分状況確認				

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類（Co塊）	がれき類（As塊）	汚泥	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量	1000t	3000t	5t	1t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	1t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	1000t	3000t	5t	1t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)				
	発生する産廃類の種別ごとの仕分、分別搬出の強化 職員、作業員への産廃関連教育、処理の実態教育を定期的に 実施し正しい知識に基く排出と削減に対する意識強化を図る 関係書類の整備・保存と委託処理の追跡、確認を現場単位で実施 余計な産廃物を排出しないための計画的施工法、施工手順を検討 して実践する				
	※事務処理欄				

	②計画	【目標】				
		産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	木くず	
		全 処 理 委 託 量	1t	1t	1t	
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1t	1t	0t	
		再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	1t	1t	1t	
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0t	0t	0t	
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0t	0t	0t	
		(今後実施する予定の取組)				
		発生する産廃類の種別ごとの仕分、分別搬出の強化 職員、作業員への産廃関連教育、処理の実態教育を定期的に 実施し正しい知識に基く排出と削減に対する意識強化を図る 関係書類の整備・保存と委託処理の追跡、確認を現場単位で実施 余計な産廃物を排出しないための計画的施工法、施工手順を検討 して実践する				
		※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1

【前年度(令和5年度)実績】

[illegible]

別紙2

【今年度(令和6年度)計画】

[illegible]